

外 国 語

- 英語コミュニケーション基礎
- 英語コミュニケーションⅠ
- 論 理 ・ 表 現 Ⅰ
- 英語コミュニケーションⅠ セミナ-
- 英語コミュニケーションⅡ
- 英語コミュニケーションⅡ セミナ-

外国語

英語コミュニケーション基礎	選択科目 3単位	1段階
担当者：	教科書（出版社）： All aboard! English Communication I Revised（東京書籍）	補助教材等：学習書
レポート 提出回数 計9回	テスト レポート3回合格ごとに各1回 計3回	スクーリング 出席回数 12回以上

1. 「英語コミュニケーション基礎」はどんな科目か？

（1）「英語コミュニケーション基礎」の目標

- ・英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
- ・聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどの基礎的な能力を養う。

（2）どんなことを学習するか

- ・初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。
- ・初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。
- ・英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。
- ・英語で書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。

（3）英語コミュニケーション基礎からのメッセージ

- ・英語コミュニケーション基礎は、必修科目である、英語コミュニケーションⅠを履修する前に、英語の基礎を一から丁寧に学習して、身につけるための科目です。英語に苦手意識がある人も、楽しみながら学習を進めていって欲しいと思います。
- ・わからないことがあったらそのままにせず、どんな小さなことでも質問して、わかるようにしていきましょう。
- ・スクーリングでは、先生と生徒で音読したり、生徒同士でやりとりする活動もあります。英語でコミュニケーションがとれるように、積極的に参加しましょう。

2. 学習の進め方

レポート・テスト・スクーリング

レ ポ ー ト	スクーリング			学 習 内 容	学 習 の ね ら い	テ ス ト	進度の めやす
	回 数	月	日				
1	1			Warm-Up 1 アルファベットの形と発音 英語のあいさつ	・アルファベットの書き方と発音を学ぶ。 ・英語のあいさつを通じてコミュニケーションのしかたを学ぶ。	1 次 テ ス ト	
	2			Warm-Up 2 単語の綴りと発音 品詞	・ローマ字と英単語を正しく書き、発音する。		

2	3		Warm-Up 2 格・人称 冠詞・複数形 数の言い方 文の構造	・数、序数、大きい数字の言い方を学び、身近な物事を数字を使って言う。		7月
	4					
3	5		Pre-Lesson 1 be 動詞の文	・ be 動詞を使った表現を学ぶ。		
	6		be 動詞の否定文・疑問文	・ be 動詞を使って自分について言う。		
4	7		Pre-Lesson 2 一般動詞の文、三人称単数 一般動詞の否定文・疑問文	・ 一般動詞を使った表現を学ぶ。 ・ 一般動詞を使って身の回りのできごとについて表現する。	2次テスト	10月
	8					
5	9		Warm-Up 3 疑問詞を使った疑問文 前置詞	・ 疑問詞疑問文を使ってやりとりをしてみる。		
	10					
6	11		Lesson 1 be 動詞の過去形	・ be 動詞の過去形について理解する。		
	12		be 動詞の過去の否定文・疑問文	・ be 動詞の過去形を使い過去の状態を表現する。		
7	13		Lesson 1 一般動詞の過去形	・ 一般動詞の過去形について理解する。	3次テスト	2月
	14		一般動詞の過去の否定文・疑問文	・ 過去形を使って日記を書いてみる。		
8	15		Lesson 2 進行形の文	・ 現在進行形について理解する。 ・ 絵の中の人を進行形で説明する。		
9	16		Lesson 3 助動詞 can will	・ 助動詞について理解する。 ・ 助動詞を使った文で誘ったり依頼してみる。		

3 評価の方法

以下の観点から学習内容を評価します。

評価の観点及び内容			評価方法
知識・技能	・ 情報や考えを述べるために必要となる語彙や表現、音声等を理解している。 ・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。		左記の観点に基づいてレポート・テスト・授業を総合的な評価点に換算し、評価を出します。
思考・判断・表現	・ コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。		
主体的に学習に取り組む態度	・ 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。		

外国語

英語コミュニケーションⅠ	必修科目 3単位	1 段階
担当者：	教科書（出版社）： All aboard! English Communication I Revised（東京書籍）	補助教材等：学習書
レポート 提出回数 9 回	テスト レポート 3 回合格ごとに各 1 回 計 3 回	スクーリング 出席時数 12 時間以上

1. 「英語コミュニケーションⅠ」はどんな科目か

（1）「英語コミュニケーションⅠ」の目標

- ・英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
- ・情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする基礎的な能力を育てる。

（2）どんなことを学習するか

- ・基礎的な文章や対話を英語で聞いて、その意味を理解する。
- ・基礎的な英語で書かれた説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり概要をとらえたりする。
また、聞き手に伝わるように音読する。
- ・身近な話題や経験したことについて、英語で話し合ったり意見の交換をしたりする。
- ・身近な話題や経験したことについて、英語で簡潔に書く。

（3）教科からのメッセージ

- ・教科書の解説や学習書をていねいに読み、じっくり学習に取り組みましょう。
英語は、言葉の学習です。辞書を活用し、意味を調べるようにしましょう。
- ・単語や文をぜひ声に出して読んでください。間違いは気にせずに！
- ・スクーリングでは、先生と生徒で音読し、生徒同士でやりとりする活動もあります。
- ・平日スクーリングを予定しています。出席時数が12時間以上になるように、積極的に利用してください。
- ・分からない時や不安な時は、先生に質問・相談しましょう。

2. 学習の進め方

レポート・テスト・スクーリング

レ ポ ー ト	スクー リ ン グ			学 習 内 容	学 習 の ね ら い	テ ス ト	進度の めやす
	回 数	月	日				
1	1			Lesson 1 (過去形)	好きな食べ物について、英語で述べる表現を学ぶ。 動詞の過去形の使い方を理解する。	1 次 テ ス ト	7月
	2			Lesson 2 (進行形)	好きな動物について、英語で述べる表現を学ぶ。 進行形の形について理解する。		
2	3			Lesson 3 (助動詞)	出かける予定の場所について、英語で伝える方法と自分ができることについて、英語で述べる表現を学ぶ。 助動詞の特徴や語順について理解する。		
3	4			Lesson 4 (to 不定詞)	行ってみたい場所について、英語で述べる表現を学ぶ 不定詞の基本3用法を学ぶ。	2 次 テ ス ト	10月
4	5			Lesson 5 (動名詞)	将来の夢について、英語で述べる表現を学ぶ 動名詞の形と意味の理解		
	6						
5	7			Lesson 6 (受け身)	好きな絵について、英語で述べる表現を学ぶ。 受け身の文の作り方		
	8						
6	9			Lesson 7 (比較表現)	関心のある人物について、英語で説明する表現を学ぶ。 比較表現の形と意味を理解する。	3 次 テ ス ト	2月
	10						
7	11			Lesson 8 (現在完了形)	人の生活を豊かにするロボットについて考え、英語で提案 することができる。 現在完了の各用法について理解する。		
	12						
8	13			Lesson 9 (名詞を後ろから説明する分詞)	地域の環境問題に対する取り組みについて、英語で述べる 表現を学ぶ。 人や物に「～している」「～される」という説明を 加える。		
	14						
9	15			Lesson 10 (関係代名詞)	海外の文化や社会に対する理解を深める活動について、英 語で述べる表現を学ぶ。 関係代名詞による修飾関係について理解する。		
	16						

3 評価の方法

以下の観点から学習内容を評価します。

評 価 の 観 点 及 び 内 容			評 価 方 法
知識・技能	・情報や考えを述べるために必要となる語彙や表現、音声等を理解している。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。		左記の観点に基づいてレポート・テスト・授業を総合的な評価点に換算し、評定を出します。
思考・判断・表現	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。		
主体的に学習に取り組む態度	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。		

外国語

論理・表現Ⅰ	選択科目 2単位	2段階
担当者：	教科書（出版社）： New Favorite English Logic and Expression I Revised （東京書籍）	補助教材等：学習書
レポート 提出回数 計6回	テスト レポート3回合格ごとに各1回 計2回	スクーリング 出席回数 8回以上

1. 「論理・表現Ⅰ」とはどんな科目か

（1）「論理・表現Ⅰ」の目標

- ・英語でのやりとり、発表、書くことの3領域を中心とした発信能力を育成する。
- ・英語で1つの段落を書くことで論理の構成や展開を工夫して、話したり書いたりして伝えることができる能力を養う。

（2）どんなことを学習するか

- ・目的や場面、状況などに応じて英語で適切に活用できる技能を身に付ける。
- ・内容の要点を示す語句やつながりを示す語句に注意しながら、目的に応じて簡潔に書く。
- ・学んだことや経験したことに基づき、論理の構成や展開を意識しながら、お互いに伝え合う。

（3）英語科からのメッセージ

- ・教科書や学習書をていねいに読み、じっくり学習に取り組みましょう。
- ・英語は、言葉の学習です。辞書を活用し、意味を調べるようにしましょう。
- ・単語や文をぜひ声に出して読んでください。間違いは気にせずに！
- ・スクーリングでは、先生と生徒で音読し、生徒同士でやりとりする活動もあります。
- ・普段からニュースなどを意識して見るようにし、自分の考えを日本語で言ったり書いたりする練習をしましょう。
- ・分からない時や不安な時は、先生に質問・相談しましょう。

2. 学習の進め方

レポート・テスト・スクーリング

レポート番号	スクーリング			学 習 内 容	学 習 の ね ら い	テスト	進度のめやす
	回数	月	日				
1	1			Unit1 Lesson 1 初めての食事	主語、動詞、文構造、疑問文と否定文、日本語の言い換えを学ぶ。	1次テスト	9月
	2			Unit1 Lesson 2 道に迷う Unit1 Lesson 3 人物紹介	提案や依頼、道順を学ぶ。 現在完了形と過去形を学ぶ。		
2	3			Unit1 Lesson 4 体調が悪い	体調を伝え、尋ねる方法を学ぶ。冠詞、人称代名詞を学ぶ。		
	4			Unit1 Lesson 5 買い物 Unit1 Lesson 6 行ってみたい場所	買い物での相づちの仕方を学ぶ。 to 不定詞と動名詞を学ぶ。		
3	5			Unit1 Lesson 7 イベントに誘われる	未来表現を使い、誘いを受け、誘いを断る方法を学ぶ。		
	6			Unit1 Lesson8 スクールカウンセラーに相談 Unit1 Lesson 9 お気に入りを紹介	how や why を用いた文を学ぶ。 前置修飾や後置修飾を学ぶ。		
4	7			Unit1 Lesson10 待ち合わせに遅刻	相手に謝る、相手を許す、相手を励ます表現を学ぶ。	2次テスト	2月
	8			Unit1 Lesson11 家庭でのディスカッション Unit1 Lesson 12 英字新聞に投稿	仮定法を使い、身近な社会問題についてディスカッションする。		
5	9			Unit2 Lesson 1 クラスでディベート① Unit2 Lesson 2 クラスでディベート②	場面や状況を理解し、相手を説得する表現を学ぶ。		
	10			Unit2 Lesson 3 経験談のスピーチ Unit2 Lesson 4 遊びやスポーツを紹介	ルールや手順を順序立てて説明し、表現する方法を学ぶ。		
6	11			Unit2 Lesson 5 日本をPR Unit2 Lesson 6 物語の両面を伝える	接続詞を使い、事実と意見を区別して述べる表現を学ぶ。		
	12			Unit2 Lesson 7 読み手を納得させる Unit2 Lesson 8 読み手を説得する	分詞構文を用い、自分の主張について理由を説明する表現を学ぶ。		

3. 評価の方法

以下の観点から学習内容を評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	・実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けているか。	左記の観点に基づいて、レポート・テスト・スクーリングを総合的な評価点に換算し、評定を出します。
思考・判断・表現	・場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について情報や考えなどの概要や詳細、意図を英語で的確に理解し、適切に表現できるか。	
主体的に学習に取り組む態度	・英語学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。	

外国語

英語コミュニケーションⅠ セミナー	選択科目 3単位	2段階
担当者：	教科書（出版社）： All Aboard! English Communication I Revised （東京書籍）	補助教材等：学習書、 リスニング用CD
レポート 提出回数 計9回	テスト レポート3回合格ごとに各1回 計3回	スクーリング 出席回数 12回以上

1. 「英語コミュニケーションⅠセミナー」とはどんな科目か

（1）「英語コミュニケーションⅠセミナー」の目標

- ・英語を通じて、発展的な相互コミュニケーション能力を育てる。
- ・情報や考えなどを的確に理解し、適切に伝える能力を育てる。

（2）どんなことを学習するか

英語コミュニケーションⅠの学習内容を発展させ、次の能力を身につけることを目標とする。

- ・基礎的な文章や対話を英語で聞いて、その意味を理解する。
- ・基礎的な英語で書かれた説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解し概要をとらえる。
また、聞き手に伝わるように音読する。
- ・身近な話題や経験したことについて、英語で意見交換をする。
- ・身近な話題や経験したことについて、英語で簡潔に書く。

（3）英語科からのメッセージ

- ・教科書の解説や学習書をていねいに読み、じっくり学習に取り組みましょう。
英語は、言葉の学習です。辞書を活用し、意味を調べるようにしましょう。
- ・単語や文をぜひ声に出して読んでください。間違いは気にせずに！
- ・スクーリングでは、先生と生徒で音読したり、生徒同士でやりとりする活動もあります。
- ・分からない時や不安な時は、先生に質問・相談しましょう。

2. 学習の進め方 レポート・テスト・スクーリング

レポート	スクーリング			学 習 内 容	学 習 の ね ら い	テ ス ト	進度の めやす
	回 数	月	日				
1	1			Lesson 1（過去形）	好きな食べ物について、英語で述べる表現を学ぶ。 動詞の過去形の使い方を理解する。	1 次 テ ス ト	
	2			Lesson 2（進行形）	好きな動物について、英語で述べる表現を学ぶ。 進行形の形について理解する。		
2	3			Lesson 3（助動詞）	ある場所への行き方とそこのできることにについて、英語で 述べる表現を学ぶ。 助動詞の特徴や語順について理解する。		
3	4			Lesson 4（to 不定詞）	行ってみたい場所について、英語で述べる表現を学ぶ 不定詞の基本3用法を学ぶ。		7月
4	5			Lesson 5（動名詞）	将来の夢について、英語で述べる表現を学ぶ 動名詞の形と意味の理解	2 次 テ ス ト	10月
	6						
5	7		Lesson 6（受け身）	好きな絵について、英語で述べる表現を学ぶ。 受け身の文の作り方			
	8						
6	9		Lesson 7（比較表現）	関心のある人物について、英語で説明する表現を学ぶ。 比較表現の形と意味を理解する。			
	10						
7	11		Lesson 8（現在完了形）	人の生活を豊かにするロボットについて考え、英語で提案 することができる。 現在完了の各用法について理解する。			
	12						
8	13		Lesson 9(名詞を後ろから説明する分詞)	環境を守るためにできることにについて、英語で述べる表現 を学ぶ。 人や物に「～している」「～される」という説明を 加える。			
	14						
9	15		Lesson 10（関係代名詞）	海外の文化や社会に対する理解を深める活動について、英 語で述べる表現を学ぶ。 関係代名詞による修飾関係について理解する。	3 次 テ ス ト	2月	
	16						

3. 評価の方法

以下の観点から学習内容を評価します。

評 価 の 観 点 及 び 内 容		評 価 方 法
知識・技能	・情報や考えを述べるために必要となる語彙や表現、音声等を理解している。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	左記の観点に基づいてレポート・テスト・授業を総合的な評価点に換算し、評価を出します。
思考・判断・表現	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	
主体的に学習に取り組む態度	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	

外国語

英語コミュニケーションⅡ	選択科目 4単位	3段階
担当者：	教科書（出版社）： All aboard! English CommunicationⅡ（東京書籍）	補助教材等：学習書、 リスニング用CD
レポート 提出回数 12回	テスト レポート3回合格ごとに各1回 計 4回	スクーリング 出席時数 16時間以上

1. 「英語コミュニケーションⅡ」はどんな科目か

(1) 「英語コミュニケーションⅡ」の目標

- ・英語を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
- ・情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。

(2) どんなことを学習するか

- ・英語を聞いて、情報や話し手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
- ・英語の文章を速読や精読など目的に応じた読み方をする。聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。
- ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき情報や考えなどについて話し合うなどして結論をまとめたり、まとまりのある文章を書く。

(3) 教科からのメッセージ

- 学習の進め方は・・・
- ・タイトルとその下の日本語の導入を読んで内容のヒントを得たら、まず、全文を読んでみましょう。初めての文です。ところどころ知っている語や内容が推測できるところがあれば十分と思ひましょう。
- ・声を出して読んでみましょう。イントネーション、個々の単語の発音、どこで切るかなど、この段階ではまだわからないと思います。ここでは、自分でできる範囲の読みでOKです。
- ・いよいよ教科書、学習書をフルに活用してレポートに取り組みましょう。問いの答えをさがしながら読んでいくうちに本文の内容理解が進みます。
- ・意味の理解が進んだところで、また声を出してみましょう。

2. 学習の進め方（レポート・テスト・スクーリング）

レ ポ ー ト	スクーリング			学 習 内 容	学 習 の ね ら い	テ ス ト	進度の めやす
	回 数	月	日				
1	1			Lesson 1(関係代名詞 what)	イタリアのプラーノ島観光について読み、その特徴や文化を学ぶ。	1 次 テ ス ト	6月
2	2			Lesson 2(比較表現)	世代を超えて人気のあるロックグループのビートルズについて読み、彼らの人気の秘密について学ぶ。		
3	3			Lesson 3(itの用法)	ヨーロッパの興味深い仮装行事について読み、なぜ人々が仮装するのかについて学ぶ。		

4	4		Lesson 4 (間接疑問文)	世界最小の鳥、ハチドリについて読み、その特徴や民話について学ぶ。	2 次 テ ス ト	9月
5	5		Lesson 5 (to 不定詞を含む表現)	歌舞伎を説明する英語音声ガイドを聞いて、歌舞伎とその独特の舞台化粧・隈取について学ぶ		
	6					
6	7		Reading 1	江戸時代の怪談を読む。		
	8					
7	9		Lesson 6(動詞の目的語になる if 節)	京都府立桂高等学校の生徒が、海外交流プロジェクトの一環で立ち上げた京野菜クラブの活動について読み、伝統野菜を未来の世代につなぐ活動について学ぶ	3 次 テ ス ト	11月
	10					
8	11		Lesson7 (関係副詞 where, when)	アーティストのミヤザキケンスケさんが、世界中で壁画を描く Over the Wall という活動にたどり着くまでについて学ぶ。		
	12					
9	13		Lesson 8 (知覚動詞)	自然界にある形や色やデザインについて読み、それらがどのように私たちの生活の中で活かされているか学ぶ。		
	14					
10	15		Lesson 9 (使役動詞)	チョコレートの裏側にある現実と日本の企業がカカオ農家を支援するために始めたbean-to-bar chocolateについて学ぶ	4 次 テ ス ト	2月
	16					
11	17		Lesson 10(分詞構文)	フローレンス・ナイチンゲールの活動について読み、看護活動に与えた功績について学ぶ。		
	18					
12	19		Reading 2	アメリカのある小さなレストランを営む夫妻と音楽家を目指す息子ボビーの物語について読み、物語の結末を考える。		
	20					

3. 評価の方法

以下の観点から学習内容を評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	・情報や考えを述べるために必要となる語彙や表現、音声等を理解している。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	左記の観点に基づいてレポート・テスト・授業を総合的な評価点に換算し、評定を出します。
思考・判断・表現	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	
主体的に学習に取り組む態度	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	

外国語

英語コミュニケーションⅡ セミナー	選択科目 2単位	4段階
担当者：	教科書（出版社）： All Aboard! Communication English Ⅱ（東京書籍）	補助教材等：学習書、 リスニング用CD
レポート 提出回数 計6回	テスト レポート3回合格ごとに各1回 計2回	スクーリング 出席回数 8回以上

1. 「英語コミュニケーションⅡセミナー」はどんな科目か

(1) 「英語コミュニケーションⅡセミナー」の目標

- ・ 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
- ・ 情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする能力を伸ばす。

(2) どんなことを学習するか

- ・ 英語コミュニケーションⅡで学んだ学習内容を発展させ、次の能力を身につけることを目標とする。
- ・ 英語を聞いて、情報や話し手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
- ・ 英語の文章を速読や精読など目的に応じた読み方をする。聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。
- ・ 聞いたこと、読んだこと、学んだことや経験したことに基づき情報や考え方などについて、話し合うなどして結論をまとめたり、まとまりのある文章を書く。

(3) 教科からのメッセージ

○ 学習の進め方は・・・

- 英語は、言葉の学習です。辞書を活用し、意味を調べるようにしましょう。
- ・ タイトルとその下の日本語の導入を読んで内容のヒントを得たら、まず、全文を読んでみましょう。
- ・ 声を出して読んでみましょう。イントネーション、個々の単語の発音、どこで切るかなど、この段階ではまだわからないと思います。ここでは、自分でできる範囲の読みでOKです。
- ・ いよいよ教科書、学習書をフルに活用してレポートに取り組みましょう。問いの答えをさがしながら読んでいくうちに本文の内容理解が進みます。
- ・ 意味の理解が進んだところで、また声を出してみましょう。

2. 学習の進め方

レポート・テスト・スクーリング

レ ポ ー ト 番 号	スクーリ ン グ			学 習 内 容	学 習 の ね ら い	テ ス ト	進度の めやす
	回 数	月	日				
1	1			Lesson 1 (関係代名詞 what) Lesson 2 (比較表現)	・ イタリアのブラーノ島について紹介する ・ 世代を超えたビートルズの人気を理解する	1 次 テ ス ト	9月
	2						
2	3			Lesson 3 (it の用法) Lesson 4 (間接疑問文)	・ 仮装する行事について読んで理解する ・ ハチドリについて読んで理解する		
	4						
3	5			Lesson 5 (不定詞を含む表現) Reading 1	・ 歌舞伎メイクの物語を理解する ・ 日本の怖い昔話について学ぶ		
	6						
4	7			Lesson 6 (動詞の目的語になる if 接)	・ 京野菜クラブの活動を理解する ・ Over the Wall という活動について学ぶ	2 次 テ ス ト	2月
	8			Lesson 7 (関係副詞 where, when)			
5	9			Lesson 8 (知覚動詞) Lesson 9 (使役動詞)	・ 自然界に存在するデザインを学ぶ ・ チョコレートに関する海外の事情を読んで理解する		
	10						
6	11			Lesson 10 (分詞構文) Reading 2	・ ナイチンゲールの活動について学ぶ。 ・ アメリカのある小さなレストランを営む家族の事情について理解する。		
	12						

3 評価の方法

以下の観点から学習内容を評価します。

評 価 の 観 点 及 び 内 容		評 価 方 法
知識・技能	・ 情報や考えを述べるために必要となる語彙や表現、音声等を理解している。 ・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	左記の観点に基づいてレポート・テスト・授業を総合的な評価点に換算し、評価を出します。
思考・判断・表現	・ コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	
主体的に学習に取り組む態度	・ 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	